



GTRプログラムとは？

名古屋大学で実施している、化学・生命科学分野の大学院生を対象とした博士教育プログラムです。プログラムから生まれる人材や研究のつながりの輪に、企業の皆様にも加わって頂くことで、学生の就職や共同研究などの形で、プログラムの価値をより広く社会に提供していくことができると考えています。産業界の皆様と一緒にこの教育プログラムを発展させていくための仕組みとして、「GTRサポーター企業」制度を設けています。

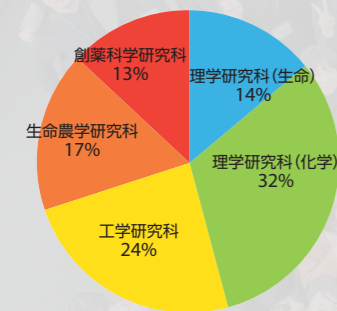
プログラムの基本データ

- ・修士・博士5年一貫の大学院教育プログラム
- ・対象研究科・専攻:理学研究科(化学/生命理学)、工学研究科(有機・高分子化学/応用物質化学/生命分子工学)、生命農学研究科、創薬科学研究科
- ・定員30名/年(書類・面接により選抜)
- ・分野:化学・生命科学

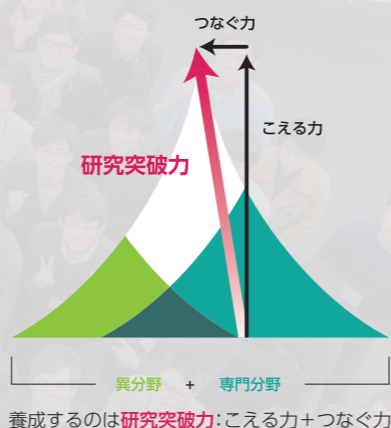
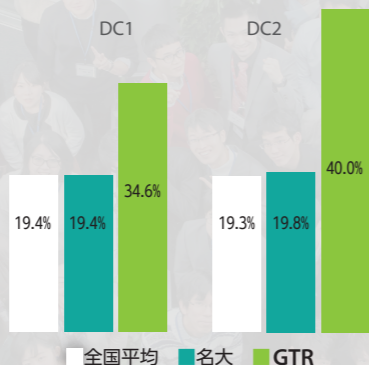
GTR学生の魅力

- ✓学位論文研究として「融合研究」に取り組む:異分野融合の実践と専門分野の深化
- ✓通常の大学院教育課程に加えて、本プログラムのカリキュラムを履修:専門研究だけではない幅広い知識と経験、人間力

GTR生の所属研究科
2021年1月現在124名の学生が参加

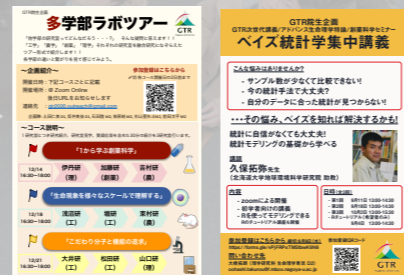


GTR生の優秀さ
JSPS特別研究員採択率(2021)



研究力だけじゃない！
GTR生のpotential

GTRには、履修生が企画を提案し審査に通ることで、プログラムから支援を受けられる「GTR院生企画」という制度があります。所属や学年を超えた“チーム”で一つのものをつくり上げる過程を通じて、研究活動だけでは見えない学生のポテンシャルが見えてきます(院生企画での履修生の活躍は、ウェブサイトの活動報告をご覧ください)。



GTRが企業の皆様に提供できる価値

- 1 優秀な博士人材のリクルーティングの機会を提供します。
- 2 最新の研究シーズへのアクセス・教員とのコネクションの機会を提供します。
- 3 企業研究者の学びの機会を提供します。

1 人材採用の機会としての活用

◆ GTR生と直接会って学生の資質や個性、人となりを知る

- ▶▶ リトリート宿泊、成果報告会

◆ 企業紹介セミナーでGTR生に自社の魅力を直接伝える

- ▶▶ キャリアパスセミナー

GTRのイベントを通じて学生と交流し、これはと思う学生にぜひ積極的にお声がけ下さい。中長期インターンシップや、共同研究の枠組みで学生を受け入れて頂くことも可能です。GTR生に御社の魅力を直接語って頂くことができる「キャリアパスセミナー」もぜひご活用下さい。

2 大学の最新の研究情報を得る機会としての活用

◆ GTR 参画研究室との共同研究など、産学連携の可能性を見つける

- ▶▶ シーズセミナー、成果報告会、リトリート宿泊

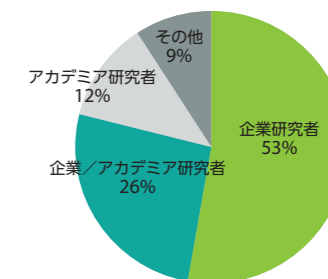
GTRに参画する120以上の研究室とつながることができます。GTRの各イベントを通じて、年間約40件の研究シーズ情報を提供しています。興味を持たれた教員との、個別の研究打ち合わせのアレンジも行っています。

3 企業研究者の学びの機会としての活用

◆ GTRの講義やイベントを、企業研究者の人材育成に活用

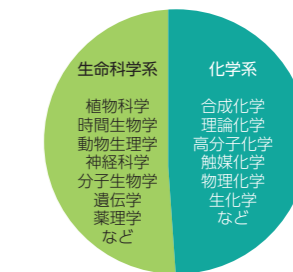
インフォマティクスやイメージング技術など、今学ばべき実践的内容を扱った「GTR次世代講義」や、異分野の知識の幅を広げるために各研究科の教員がオムニバス形式で実施する「GTRシリーズ講義」の一部を受講できます。また、GTRのイベントに参加し、異分野の研究や学生の感性に触れ、学生に助言頂く経験が、企業の若手研究者の専門性や研究視野の拡大、研究力向上につながればと考えています。

GTR生の進路希望
約8割の学生が企業の研究職を志望

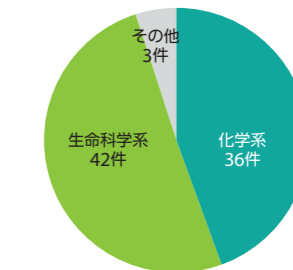


(2020年6月の学生アンケートより)

プログラム担当教員の専門分野
化学・生命科学の分野を幅広くカバー



教員による研究シーズ紹介
これまでに80件以上の研究を紹介



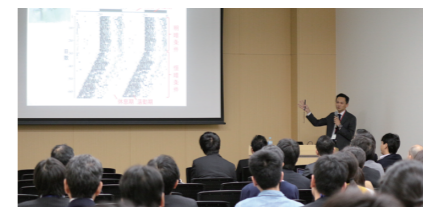
(2021年1月時点)

リトリート宿泊



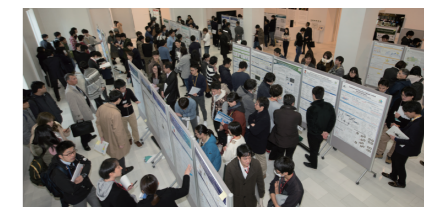
GTRに参加する学生・教員・企業など、全関係者の「人のつながり」を構築することを目的に、年に一度開催しています。グループワークでの異分野融合提案コンテストや研究発表などを直接お聞き頂くことで、学生の資質や人となりを知って頂けます。教員による研究シーズ紹介も行っています。

シーズセミナー



GTRに参画する研究室の教員が研究シーズを紹介し、例年15件程度の研究シーズをお聞き頂きます。化学・生命科学の幅広かつ多彩な切り口の研究情報を得られる点、1件の発表がコンパクトで1回のイベントで多くのテーマを聞くことができる点が特徴です。

成果報告会



一年間の研究の進捗を確認するとともに、新しい融合の可能性を見つけるための場として、例年1月に開催しています。全GTR生によるポスター発表や教員による研究シーズ紹介を通じて、大学の研究の最前線をいち早く知ることができるイベントです。

参画企業インタビュー

コニカミノルタ株式会社
北 弘志(技術フェロー 開発統括本部要素技術開発センター長)



Q. 企業としてどんな所に参画のメリットを感じていますか。

GTRの「つなぐ力・こえる力」というコンセプトが、我々が社内目指しているありたい姿ととても近いと感じたことが、参画の決め手でした。自社の目指すコンセプトに合致した教育を受けた人材と接点を持つことができるのは、人材採用の点で大きな魅力です。

また、GTRのイベント等を通じて、参画する研究室の最新の研究情報を得ることができます。GTRに参画する先生方はご自身も融合へのマインドをお持ちで、学部や研究室の枠にとらわれない有益なつながりを得られます。イベントでの研究シーズ紹介などをきっかけに、何人かの先生とは個別に面談をさせて頂いています。

Q. 企業から見たGTRの博士人材の魅力や期待を教えてください。

GTRでは、理学・工学・農学・薬学の学生たちが共に学び、分野の枠を超えて物事を考えることに取り組みます。学生時代から「融合」の視点や方法を身につけた人材には、とても魅力を感じます。博士課程を修了した人材が持つ、知的好奇心の高さや、一つのサイエンスを博士論文という形で自分の力でまとめ上げた経験は、企業において、新しいものを創り出すために必要な素地だと思います。品質やコストだけで競争できる時代は終わり、新しい価値を「create」することが求められる今日、社会の変化に応じて新しいものを積極的に吸収し、自分の力で切り拓くマインドを持った、「自走してくれる人」が、今後、会社を支える人材だと考えています。この点に共感できる企業にとっては、GTRの博士人材はとても魅力的だと思います。